

地域企業協働プログラム

成果報告会

～ 製造業編 ～

経済産業省では、「デジタル人材」の育成・確保を進めるために、オンライン研修プログラム「マナビDXクエスト」を実施しています。この度、研修受講生が実際に地域企業の課題解決に取り組む「地域企業協働プログラム」について、製造業の企業における成果報告会を実施します。

開催日時	2024年2月29日（木） 19:00 ～ 20:00
開催形態	オンライン（Teams）
対象	新潟県、長野県内企業の方
内容	<ol style="list-style-type: none">1. 本事業の概要説明 デロイト トーマツ リスクアドバイザー株式会社2. 成果報告 本プログラムに参加した受講生チーム（※）3. パネルディスカッション 本プログラムに参加した各企業（※）4. 製造業関係支援メニュー等の紹介 関東経済産業局 地域振興課 <p>（※）本プログラムに参加した企業及び受講生チームについては裏面をご確認ください</p>
申込方法	<ul style="list-style-type: none">・ 下記URLまたは右のQRコードよりお申し込みください。 https://forms.office.com/e/SzMW7bR3Cw・ 申込期限：2024年2月28日（水）12：00



「地域企業協働プログラム」について













「地域企業協働プログラム」は、経済産業省が運営するデジタル推進人材育成プログラム「マナビDXクエスト」の一環として実施するものです。「マナビDXクエスト」で企業のDXに関する課題解決のケーススタディを学んだあと、実際に地域企業が抱える課題解決に取り組みます。

参加者は企業におけるDXを推進する変革の考え方やプロセスを学ぶことができ、参加企業は、参加者との協働を通じて自社のDXに関する課題解決の端緒とすることができます。

【参考URL】 <https://dxq.manabi-dx.ipa.go.jp/>（マナビDX Quest ホームページ）

地域企業協働プログラムにおける取組概要

令和5年度の「地域企業協働プログラム」では、製造業において6つの企業・受講生チームがDXに向けた課題解決に取り組みました

 <p>社名 株式会社エステーリンク 事業概要 金属加工業 所在地 新潟県燕市 従業員数 95人</p>	×	 <p>チーム名 ほっこりDXヘルパーズ メンバー 5人 主なスキル 中小企業診断士、システム監査技術者、博士(機能数理学)など</p>
<p>実施テーマ 会社業務のデジタル化推進のロードマップ構築</p>		
 <p>社名 黒澤酒造株式会社 事業概要 酒類製造業 所在地 長野県佐久穂町 従業員数 19人</p>	×	 <p>チーム名 こたつナビゲーターズ メンバー 5人 主なスキル ITコーディネータ、情報処理安全確保士、システムエンジニア経験、など</p>
<p>実施テーマ 資材及び原料管理の効率化を踏まえたDX構想・ロードマップの策定</p>		
 <p>社名 株式会社サカタ製作所 事業概要 建築資材の設計・製造 所在地 新潟県長岡市 従業員数 156人</p>	×	 <p>チーム名 AI知球戦隊デジタリアン メンバー 6人 主なスキル 公認会計士、AIを用いた自動検査の実装経験、製造業勤務経験、など</p>
<p>実施テーマ サカタ製作所でのDX構想策定</p>		
 <p>社名 株式会社羽生田鉄工所 事業概要 鉄鋼製品製作 所在地 長野県長野市 従業員数 75人</p>	×	 <p>チーム名 わっしょい メンバー 7人 主なスキル システムエンジニア、デジタル marketer、データサイエンティスト、など</p>
<p>実施テーマ 衛星データ活用を行う新規事業のビジネスシナリオの構築</p>		
 <p>社名 株式会社みすずコーポレーション 事業概要 食品製造業 所在地 長野県長野市 従業員数 953人</p>	×	 <p>チーム名 Seed Empathy メンバー 6人 主なスキル メーカー勤務経験、業務効率化・品質向上の実務経験、など</p>
<p>実施テーマ DX構想の検討・ロードマップの作成</p>		
 <p>社名 株式会社三松製作所 事業概要 金属加工業 所在地 新潟県新潟市 従業員数 43人</p>	×	 <p>チーム名 Joyside Hakery メンバー 6人 主なスキル ITシステム開発経験、製造業勤務経験、コンサルタント経験、など</p>
<p>実施テーマ 生産技術や稼働率の見える化に向けた蓄積データの分析・活用、改善モデルの構築</p>		

※ 報告会当日は、都合により一部企業又は受講生チームの参加がない場合があります。
その場合は事務局（デロイトトーマツ リスクアドバイザーズ株式会社）にて代わりに成果の発表を行います。